

(2) 地方創生交付金の活用状況と評価について

○先行型交付金

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	八幡平市総合戦略策定事業	基礎交付	8,151,000	指標①						地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	八幡平市の地方創生に必要なKPI設定に際し、確かな現状分析に基づく将来目標を立て、それを達成に向けて具体的な事業計画を策定したことから、有効であったと認められる。	予定通り事業終了	策定が完了した。
2	訪日外国人誘客促進事業	基礎交付	21,709,000	指標①	外国人宿泊客数	25,000	人	H28.3	28,448	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・指標値を実績値が上回っており、目的が達成されたと認められる。 ・具体的にターゲットを絞った取り組みが効果的であり、先駆的な取り組みとなった。 ・他自治体も追随してきており、次の展開が必要。	事業内容の見直し(改善)	促進の手段を変更して実施。
3	外国人誘客観光案内素材多言語化事業	基礎交付	4,500,000	指標①	外国人宿泊客数	25,000	人	H28.3	28,448	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・指標値を実績値が上回り、目的が達成されたと認められる。 ・他の事業との相乗効果作用により外国人の誘客に効果があったといえる。 ・この事業の成果をHPの多言語化などに有効活用すること。	予定通り事業終了	想定の上で完了。
4	広告宣伝媒体を活用した観光振興事業	基礎交付	1,000,000	指標①	観光客入込数	202	万人回	H28.3	176	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	・KPIIIによる達成の判断基準が有効であるとは言いがたく、PKIの設定自体に課題があったといえる。 ・PKIが実績値を下回った原因は、主に雪不足の影響で冬期間の誘客が激減したことであり、不可抗力である。 ・本事業は、イメージアップ効果が期待されるものであるから、短期的よりも長期的な視点での効果測定が必要である。事業の効果を直接的に判断できる指標設定が別途必要であった。	事業の継続	効果的な媒体を選定して実施。
5	起業志民プロジェクト事業	基礎交付	18,291,000	指標①	イベント開催回数	1	回	H28.3	5	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・イベント参加者数の実績値が指標値を下回る結果となったが、開催数を多くしたことなどにより、お祭りの一過性のイベントではなく、参加者を絞って回数を多くした「量より質」を重視した内容への変更と理解した。 ・市がこれまでに実施したことがない取り組みであり、起業家育成に一定の成果があったと見られる。 ・市内のみならず遠く広島からも参加者を得ていることは、まさにまち・ひと・しごと創生に期待できる事業である。	事業の継続	市内への会社立地等の事業の成果が見られるため継続して実施。
指標②	イベント参加者数	200	人	H28.3	60									
指標③														
指標④														
指標⑤														
6	八幡平市版CCRC推進事業	タイプ I	19,500,000	指標①	入居者モニタリングサンプル数	20	人	H28.3	4	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・指標①の調査対象とした施設は、全国的にも先駆的で注目されている施設であり、入居が進むものと考えて、指標設定をしたが、入居者が思うように伸びず、結果として指標を達成できなかったのは、やむを得ないと判断する。 ・指標②を達成したことは、市内外の関心を集め、八幡平市が全国的にも先駆的な取り組みを進めることを周知でき、今後取り組みを進めるうえで重要な基礎となっている。	事業の継続	事業の進捗に合わせた事業を実施。
指標②	八幡平市日本版CCRC構想勉強会参加者数	200	人	H28.3	260									
指標③														
指標④														
指標⑤														

○加速化交付金

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	訪日外国人観光客もてなし体制強化プロジェクト事業		20,685,000	指標①	外国人観光客数	25,000	人回	H29.3	34,870	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・指標値を実績値が大きく上回っており、効果は明白であったといえる。 ・ターゲットをオーストラリア、タイに設定していたのであれば、KPIIIは外国人観光客全体ではなく、オーストラリア、タイからの観光客数としたほうがより直接的に効果を測ることができたであろう。 ・単に観光客を呼び込むだけでなく、市内での消費につなげる仕組みづくりが今後の検討課題である。	追加等更に発展させる	